

資 料 提 供	
平成29年8月30日	
担当課 (担当者)	中部総合事務所 生活環境局建築住宅課 (松岡)
電 話	0858-23-3234

住宅復興状況把握のための航空撮影について（第3回）

平成29年8月30日
中部総合事務所 生活環境局

- 平成29年7月27日から8月17日の間に、第3回目の航空撮影等の調査を行い、基準とする平成28年11月2日と比較したところ、ブルーシートのは対象とする区域で、337棟から、80棟、24%に減少していることが確認できた。
- ※ 平成29年4月の倉吉市の調査地域は、伝統的建造物群保存地区（伝建地区）を含んでおり、修繕に規制がある等特別な地域であることから、倉吉市全体の復興状況を推しはかるのには適当ではないと判断し、平成29年5月の調査より西倉吉地区に変更した。ただし、伝建地区については、当初の調査地域に上げたこと、倉吉市を代表する地域であり、常に報道等にも大きく取り上げられ、復興の進捗に関心の高い地域であることから、引き続き、参考として進捗状況を公表する。

集 計

調査箇所	H28.11.2	H29.4.5		H29.5.19		H29.8.17	
	棟数	棟数	当初比 (%)	棟数	当初比 (%)	棟数	当初比 (%)
倉吉市 西倉吉町、福守町、西福守町	48 (172)	(139)	(81%)	19	40%	17	35%
三朝町 大瀬地区	129	82	64%	52	40%	19	15%
湯梨浜町 久見、小鹿谷、田畑、国信、別所、高辻、方面地区	69	40	58%	25	36%	15	22%
北栄町 西園、松神、下神地区	91	61	67%	42	46%	29	32%
計	337 (461)	(322)	(70%)	138	41%	80	24%

※ ()の数値は、倉吉市の伝建地区の数値を計上したもの

1 復興状況把握の手順（役割分担）

- (1) 撮影場所の選定（県と市町で協議）
- (2) 空撮（県消防防災センター）
- (3) 分析（市町）
空撮写真、及び地上からの目視により被害住居を住宅地図へ転記し、数値化
- (4) 集計とりまとめ（中部総合事務所 生活環境局）

2 撮影予定日

平成28年11月2日(水)の震災直後、防災ヘリから空撮したものを基準として、概ね2月毎に空撮し、10月下旬（概ね地震後1年間）までを目途とする。

・撮影日 平成29年4月5日、5月10、19日、7月27日、8月17日、10月下旬を予定

※取りまとめは空撮後、概ね2週間程度必要

3 調査資料

航空写真 (平成 28 年 11 月 2 日、西倉吉町周辺)



(平成 29 年 7 月 27 日、西倉吉町周辺)



<参考>倉吉市新町周辺 (伝建地区)

調査箇所	H28.11.2	H29.4.5		H29.5.10		H29.7.27	
	棟数	棟数	当初比 (%)	棟数	当初比 (%)	棟数	当初比 (%)
倉吉市 東岩倉町、新町、西町、大正町、西仲町、東仲町、 明治町、研屋町、魚町、葵町、堺町地区	172	139	81%	95	55%	59	34%

航空写真

(平成 28 年 11 月 2 日、倉吉市新町周辺 (伝建地区))



(平成 29 年 7 月 27 日、倉吉市新町周辺 (伝建地区))

